

新年明けましておめでと
うございます。

市民の皆様には、平成23年
の新春をご家族ともどもお迎
えのこととお喜び申し上げます。
本年もどうぞよろしくお
願いいたします。

さて、昨秋には、多くの市
民の皆様のご信託を賜り、再



選を果たすことができ、市長
の重責を担う決意を新たにし
たところでです。
今年はいよいよ、「川口市
との合併完結」の年でありま
す。
合併につきまして
は、市民の中に様々
なご意見等がありま
すが、本格化する少
子高齢化や市民の価値観の変
化、そして、地域主権改革の
進行など地域社会を取り巻く
状況を踏まえ、将来にわたる
安定した市民生活を築くとと
もに、この地域の発展を志向

合併完結の年

市長 木下達則

また、依然として景気の低
迷が続いており、小規模事業
者が多い鳩ヶ谷市では、地域
経済の再生に向け、しっかりと
取り組んでいくことが重要な課
題となつております。

引き続き、国等における経
済対策と併せ、市内での消費
拡大など、きめ細かな対策を
講じてまいります。
こうした努力を続
ける中で、必ずや光
明が射してくるもの
と信じております。
今年「卯年」で
す。卯年はよく「飛躍」の年
といわれます。
今年こそ、景気回復の歩み
が飛び跳ねるように力強いも
のとなり、明るい豊かな良き
年になりますよう、心からご

祈念申し上げます。
2期目の施政方針のと
り、重要な政策課題を8項目
(左ページ参照)掲げたところ
です。合併後の鳩ヶ谷地域
の状況を見据えながら、市民
の皆様が安心安全な生活と住
みよい社会の実現に向け、引
き続き全力を傾注する所存で
ございます。
市民の皆様が市政に対する
ご理解とご協力をお願いする
とともに、皆様のご健勝とご
多幸を心より祈念申し上げます。
新年のあいさつといいたしま
す。

新年のごあいさつ

皆様、明けましておめでと
うございます。

市民の皆様方には輝かしい
平成23年の新年をお迎えのこ
とと心からお喜びを申し上げます。

また、日頃より、本市議
会に對しまして温かいご支援ご
協力を賜っておりますことを



心から感謝申し上げます。
さて鳩ヶ谷市議会は昨年の
改選により、定数を3名削減
し15名の議員でスタートいた
しました。

その12月定例市議
会において、議長に
就任した私は、議会
の調整役であること
もに、判断を求めら
れた時には英断を持ってこれ
る臨む覚悟でございます。

今、景気の動向により、市
内の中小をはじめとする企業
経営は厳しさを増し、雇用情
勢も伸び悩む中、市民生活は、

新たなスタート

市議会議長 野口宏明

先行き不透明な不安を抱えて
おります。
このような中、12月定例市
議会において、地域経済に対
する緊急支援として、総額1
億3500万円に及ぶ「地域
経済元氣アップ事業」を含ん
だ補正予算を可決いたしました。
今後とも、私達市議会は、
より安全で安心して暮らせる住

みよいまちづくりと、地域の
活性化のため、議員一同、研
究・検討を重ね、議会からの
提案・提言を行ってまいりた
いと考えております。
さて、一昨年の任
意協議会発足から、
昨年の法定協議会
へ、合併の協議も、
総仕上げの年となり
ます。
私は、合併は『ゴール』で
はなく、新しい街づくりへの
『スタート』であると考えて
おります。
年頭に当り、議会に課せら

れた使命を再確認し、将来に
わたり元氣で活力のある、住
みやすい「鳩ヶ谷市」、そして
10月からは「川口市」として新
たな一歩を踏み出すことがで
きますよう、決意を新たにし
ているところでございます。
市民の皆様方の変わらぬご
支援とご協力を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。
終わりに、この1年市民の
皆様方のご多幸とご健勝を心
よりご祈念申し上げます、
私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

木下市長の所信表明

2 期目の市政運営について

12月3日（金）に開催された市議会定例会で、木下市長が就任2期目の市政運営にあたっての所信を述べました。その要旨をお知らせします。



はじめに

市長就任以来、市民のための市政の再構築を念頭に、責任の持てる市政と「市民と協働するまち鳩ヶ谷」の創造に、全力を傾注してきました。この度の市長選挙では、こうした私の市政運営に対し、市民の皆様からご理解と評価をいただいたところです。

特に、私は川口市との合併完結を強く訴えたところであり、この点、市民の皆様から大きな信任を受けたものと受け止めています。

2期目の市政運営にあたり、鳩ヶ谷市を取り巻く様々な状況の変化を踏まえ、どうしても前進させなければならないものや軌道に乗せなければならないものを8項目の主な政策として掲げます。

主な施策 8項目

1 川口市との合併完結

市民の皆様の大きな期待に応えるため法定合併協議会での議論を進め、23年10月11日合併を目指して、合併の諸手続きを粛々と進めます。

なお年度の途中での合併を目ざしていますが、23年度当初予算は通年による予算編成を行い、合併後の事務・事業の執行が円滑に行なわれるよう、川口市と調整し、遺漏のないように合併準備を進めます。



市議会で市政運営を述べる木下市長

2 安心安全なまちづくり

鳩ヶ谷市が大変な過密都市に変貌する中で、防災対策は急務となっています。引き続き、学校をはじめとする公共施設の耐震化対策、水害対策を進めるとともに、地域防災拠点の整備など、消防防災力の一層の強化を進めます。



3 健康で安心して暮らせる福祉のまちづくり

市民が住みなれた地域で安心して生活が送れるよう、同一福祉医療圏にある隣接市と均衡のとれた医療・介護・障害者対策等、福祉医療の充実を図り、人にやさしいまちづくりを進めます。



また、少子高齢等、社会構造が大きく転換する中で、女性の社会進出を支える基盤づくりはまだ不十分です。引き続き官民一体となって子育て環境の整備を進めます。

4 住みやすく、質の高い住環境の整備

駅周辺地域について拠点性の高い整備を図るとともに、土地区画整理事業など計画的なまちづくりを進めるほか、都市交通再編計画などを積極的に進めます。

5 地域経済の活性化

大変厳しい市内事業者の経営環境を踏まえ、引き続き国や県と連携し、事業者の皆様が将来に夢を持つことができる経営環境や雇用環境等の創出を進めます。



6 鳩ヶ谷教育の充実

社会環境や価値観の変化を踏まえ、地域の未来を築いていくためには、継続した人材の育成が大変重要と考えています。子ども達の学力、体力そしてモラルの向上を図るとともに、学校や社会教育施設の改修等、教育環境の整備を進めます。



7 市政改革と市民主体のまちづくりの推進

引き続き市政改革を進めるほか、市民主導のまちづくりを目標に、市民の皆様が市政に積極的に参加できるよう、市長タウンミーティングを開催するなど、市民協働のまちづくりを進めます。

8 鳩ヶ谷歴史・文化継承プロジェクトの推進

鳩ヶ谷市の地域資源である自然環境や歴史・文化をまちづくりに活用し、(仮称)湧水の里の保全整備や、郷土資料館のリニューアルなどを進めるとともに、合併後も、ふるさと鳩ヶ谷の誇りを継承できるよう積極的に取り組みます。

むすびに

2期目は、木下市政の最大の目標「川口市との合併」を完結する集大成の年です。私はこの合併が、市民生活を将来にわたって安定させ、地域の発展と未来を切り開いていくと確信しています。そのために、合併完結に向け、全力を注いでいく覚悟です。

市政の推進は実績に甘えることなく、市民生活の安定・向上を胸に、皆様から尚一層の評価をいただけるよう、市長として強いリーダーシップを発揮する決意を新たにしています。引き続きご理解、ご支援を心からお願い申し上げます。